

(仮称)品川区立環境学習交流
施設新築工事

施工者=法月・圓山JV
発注者=品川区

現場代理人 佐藤晋也氏



B」を取得した。設計段階で地中熱利用や太陽光発電、Low-eガラスを採用し、その設計を確実に工事へ反映することが求められた。

みながる学ぶ施設を「コン庇(ひさし)」は、直射日光の進入を遮減する効果セプトに、建物自体も環境性能の高い造りだし、柱より大きさはね出した形状である」とから、鉄骨の公共施設では初となる精度を出すのに苦労した

徹底した環境配慮に 一丸となつて取り組む

という。また、工事中に利用する電気は再生可能エネルギー100%のもとで解消している。建物北側は狭い道路に面するため、同規模の鉄骨造ではあまり使われないタワークレーンを採用。これにより、道路を通行止めにすることなく、円滑な工事進行を実現した。

差は、1階部分に階段を設けることとで解消している。建設JV現場代理人の佐藤晋也氏は、「2次元で図面を読み解こうとする現在は最終的な追い込み段階に入り、外構工事や前面側外部の床の仕上には非常に複雑な建物だつた。発注者や設計会社と共に、3D図面やたくさんさんのパースを通じて立体のイメージを共有してきた。難しい建物である分、イメージした通りに形になってくるのを見る」と感慨深いものがある」と完成間近の建物に思いを寄せる。

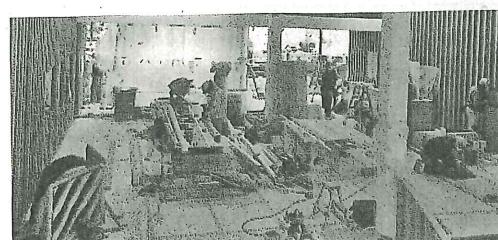
内外装工事などの
仕上げ作業が進む

現場を見る

戸越公園の北東に新設する品川区立環境学習交流施設「エコルどじし」では、2月末の竣工に向かっている。環境を楽し「Nearly ZE



完成が近づくエコルどじしの外観



公園の利用者など、この地を行っている。施工を担当する法月建設・圓山建設JV現場代理人の佐藤晋也氏は、「2次元で図面を読み解こうとする現在は最終的な追い込み段階に入り、外構工事や前面側外部の床の仕上には非常に複雑な建物だった。発注者や設計会社と共に、3D図面やたくさんさんのパースを通じて立体のイメージを共有してきた。難しい建物である分、イメージした通りに形になってくるのを見る」と感慨深いものがある」と完成間近の建物に思いを寄せる。